

2005年9月より済生会熊本病院臨床工学部より週2日の派遣で業務を行っており、常勤の臨床工学技士は不在である。
2020年10月より毎週、月曜日と木曜日に業務を行った。

1. ME 機器中央管理業務

ME 中央管理室の業務では、機器の貸出し、保守点検整備および修理を主たる業務としている。

中央管理しているME 機器は、人工呼吸器3台、N P P V 4台（レンタル3台）、輸液ポンプ33台、シリンジポンプ11台、経管栄養ポンプ3台、小型シリンジポンプ3台、低圧持続吸引器5台、除細動器3台、A E D 4台、体外式ペースメーカー2台、その他に医用テレメータ、ベッドサイドモニター、自動血圧計、パルスオキシメーター、ジェットネブライザーなどである。

表1. 点検件数（2021年度） (件)

機器種類	集 計
輸液ポンプ	329
ジェットネブライザー	23
低圧持続吸引器	20
小型シリンジポンプ	18
シリンジポンプ	16
ベッドサイドモニター	15
NPPV	15
栄養ポンプ	11
人工呼吸器	6
呼吸回路備品	3
カフ圧計	3
麻酔ガスモニタ	3
医用テレメータ	2
総計	466

機種別点検件数を示している。

点検件数は、466件であった（前年度509件）。

2. 病棟機器の保守整備業務

機器の保守・調整は、中央管理機器に限らず病棟管理の物品も行っている。

修理件数が多かった機種は、パルスオキシメーター、モニタであった。

パルスオキシメーターは、修理費より安価で同性能・同耐久性の物へ更新中である。保証期間のみ修理を依頼している。

3. 人工呼吸器業務

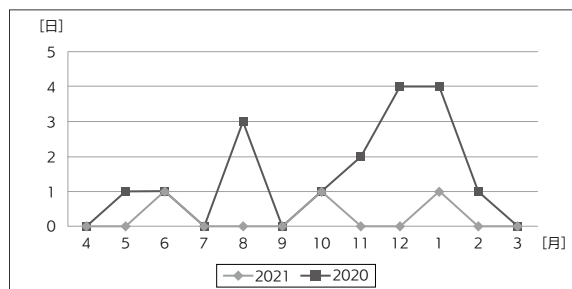
人工呼吸器が必要な緊急時は、機器を選定しベッドサイド配置および呼吸器設定の補助を行っている。

定期的な回路・フィルタ交換を行っている。

要望に合わせて蛇管構成の変更も行っている。

需要に応じてN P P Vのレンタル手配・整備を随時行っている。

図1. 人工呼吸器の稼働状況（2020・2021年度比較）

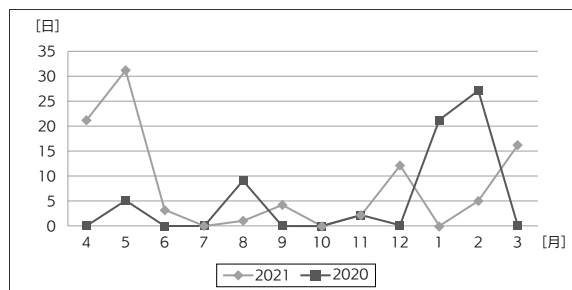


2020・2021年度の月別の稼働日数を表している。

平均稼働率0.27%（前年度1.55%）

使用数日 3日（前年度17日）

図2. N P P Vの稼働状況（2020・2021年度比較）



2020・2021年度の月別の稼働日数を表している。

平均稼働率6.51%（前年度4.38%）

使用日数 95日（前年度64日）

2011年11月よりN P P Vのレンタルを開始しており、1台使用する毎に予備機を追加している。

C S A - T J（心不全用）2台、N I P ネーザル V E（呼吸不全用）1台を常備している。

4. ペースメーカー業務

体外式ペースメーカーの電極挿入時にジェネレーター操作およびサポートを行っている。

5. 手術室業務

麻酔器の保守を行っている。

手術の補助も行っている。

6. ME 教育・指導

ME 機器の原理、構造、適切な使用法の勉強会を行っている。

起こりうるトラブルとその対処、安全対策等に関して随時情報提供を行っている。

トラブルの報告があった際は、迅速に対応・原因追求して返答し、その情報をME 中央管理室に蓄積して、メーカーとの協議を行っている。